

浅間温泉活性化に向けて

— 住民意識調査と課題 —

The Propose of Activating Asama Spa Resort

Resident of Opinion and The Suggestion

山根宏文・鈴木尚通

目 次

1. はじめに
2. 調査対象の構成
3. 調査結果と概要
4. 住民意識に関する考察と課題
5. まとめ

1. はじめに

浅間温泉の活性化のためには、浅間温泉が地域住民の生活の場であることを意識して、観光振興が地域住民の生活の向上につながることを大切である。観光振興が地域住民との不調和を生じたり、理解、支持や協力が得られないなら観光振興は成り立たない。

地域住民に対して「温泉のある個性豊かな町づくりについて」と題して地域住民の浅間温泉に対する意識調査、住民の生活向上のための問題点を考察すべくアンケートを配布した。内容としては、

- (1) 地域住民の構成
- (2) 浅間温泉の利便性や快適性について
- (3) 浅間温泉の魅力について
- (4) 浅間温泉の旅館について
- (5) まちづくりの活動に関する考え

などである。

本稿では以上のアンケートを年代別に分析し、結果を基に住民の望む地域での生活向上と同時に浅間温泉の観光地振興が向上するための方策を考察する。

2. 調査対象者の構成

地域の住民の性別、年齢、職業、住居年数を調査し、住民像を把握する目的として質問事項を作成した。

2-1 調査対象者の居住地

浅間温泉の周辺地域（総世帯数1550戸）に対して3000枚のアンケート用紙を配布し、952通の回答を得た。（実施日2004年06月10日）アンケートの解析にあたっては10歳代3、20歳代36と若年層の票数が少なかったので、年齢層を40歳未満（152名）、40歳から59歳（328名）、60歳以上（438名）の3つのクラスに分けて集計を行った。

表2-1 調査対象者の居住地

町 会	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無 回 答		合 計	
第 1 町 会	26	17.1%	37	11.3%	72	16.4%	2	5.9%	137	14.4%
第 2 町 会	9	5.9%	24	7.3%	33	7.5%	1	2.9%	67	7.0%
第 3 町 会	10	6.6%	35	10.7%	58	13.2%	9	26.5%	112	11.8%
第 4 町 会	16	10.5%	32	9.8%	33	7.5%	1	2.9%	82	8.6%
第 5 町 会	31	20.4%	72	22.0%	78	17.8%	10	29.4%	191	20.1%
第 6 町 会	14	9.2%	47	14.3%	64	14.6%	1	2.9%	126	13.2%
第 7 町 会	21	13.8%	41	12.5%	51	11.6%	6	17.6%	119	12.5%
第 8 町 会	25	16.4%	40	12.2%	49	11.2%	4	11.8%	118	12.4%
合 計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

2-2 調査対象者の性別

男性 42.1 %に対して女性52.4%である。

表2-2 調査対象者の性別

性 別	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無 回 答		合 計	
男	56	36.8%	132	40.2%	206	47.0%	7	20.6%	401	42.1%
女	95	62.5%	182	55.5%	213	48.6%	9	26.5%	499	52.4%
無 回 答	1	0.7%	14	4.3%	19	4.3%	18	52.9%	52	5.5%
合 計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

2-3 調査対象者の年齢

10代、20代の合計が全体の4.1%であり、30代、40代の合計が23.4%であり、50代、60代の合計が69.0%である。アンケート対象者の約70%が50代以上である。

表2-3 調査対象者の年齢

町 会	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無 回 答		合 計	
10代	3	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.3%
20代	36	23.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	36	3.8%
30代	113	74.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	113	11.9%
40代	0	0.0%	109	33.2%	0	0.0%	0	0.0%	109	11.4%
50代	0	0.0%	219	66.8%	0	0.0%	0	0.0%	219	23.0%
60代以上	0	0.0%	0	0.0%	438	100.0%	0	0.0%	438	46.0%
無 回 答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	34	100.0%	34	3.6%
合 計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

2-4-1 調査対象者の職業、勤務地（浅間温泉内・外）について

商工業・サービス業などの自営業が24.2%、それ以外の職業の人が25.7%、農林漁業が0.5%、無職が32.5%である。その他が76名（8.0%）であるが、これは自営業以外の職業であると思われる。さらに無回答が87(9.1%)名あるが、1-3のアンケート結果である60歳代以上が438名(46.0%)であることを考えると無職である可能性が高い。したがって商工業などの自営業24.2%、自営以外33.7%、農林漁業0.5%、無職41.6%と考えられる。

表2-4-1 調査対象者の職業

職 業	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無 回 答		合 計	
商 工 業	25	16.4%	109	33.2%	91	20.8%	5	14.7%	230	24.2%
自 営 以 外	76	50.0%	119	36.3%	47	10.7%	3	8.8%	245	25.7%
無 職	33	21.7%	49	14.9%	219	50.0%	8	23.5%	309	32.5%
農 林 漁 業	0	0.0%	2	0.6%	3	0.7%	0	0.0%	5	0.5%
そ の 他	8	5.3%	34	10.4%	33	7.5%	1	2.9%	76	8.0%
無 回 答	10	6.6%	15	4.6%	45	10.3%	17	50.0%	87	9.1%
合 計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

2-4-2 調査対象者の勤務地（浅間温泉内・外）について

浅間温泉内に勤務するが29.7%であり、浅間温泉外で勤務するが31.0%である。

無回答の39.1%は、全体の32.5%を占める無職が多数含まれている。したがって無職と「浅間温泉内に勤務」を合計した61.7%は、終日浅間温泉で生活していると考えられる。

表2-4-2 調査対象者の勤務先（浅間温泉の内・外）

勤務先	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無 回 答		合 計	
浅 間 温 泉 の 内	34	22.4%	106	32.3%	139	31.7%	4	11.8%	283	29.7%
浅 間 温 泉 の 外	80	52.6%	149	45.4%	62	14.2%	4	11.8%	295	31.0%
内 と 外	0	0.0%	1	0.3%	1	0.2%	0	0.0%	2	0.2%
無 回 答	38	25.0%	72	22.0%	236	53.9%	26	76.5%	372	39.1%
合 計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

2-5 居住年数について

居住年数について、10年未満が、19.8%であり、11年から20年が10.9%であり、30年以上が50.6%である。20年以上で考えると全体の7割（66.8%）である。当然のことながら、年齢層が上がると、居住年数も長くなる傾向にある。30年以上勝つ60歳以上が326名（34.2%）に達している。

表2-5 居住年数について

居住年数	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無 回 答		合 計	
1 年 未 満	14	9.2%	6	1.8%	7	1.6%	0	0.0%	27	2.8%
1 ～ 3 年	34	22.4%	18	5.5%	5	1.1%	2	5.9%	59	6.2%
4 ～ 10年	43	28.3%	38	11.6%	19	4.3%	3	8.8%	103	10.8%
11～ 20年	23	15.1%	49	14.9%	31	7.1%	1	2.9%	104	10.9%
21～ 30年	20	13.2%	82	25.0%	48	11.0%	4	11.8%	154	16.2%
30年 以上	17	11.2%	130	39.6%	326	74.4%	9	26.5%	482	50.6%
無 回 答	1	0.7%	5	1.5%	2	0.5%	15	44.1%	23	2.4%
合 計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

アンケート対象者(地域住民)の男女の内訳は男性(42.1%)女性(52.4%)であり、50代以上が69%を占める。無職の人が41.6%であり、浅間温泉内で終日生活している人が61.7%であり、居住年数20年以上が全体の66.8%である。このような住民層を考え、対策を考察する必要がある。

3. 調査結果と概要

A. 浅間温泉の利便性や快適性について

浅間温泉での生活に関しての快適さを、利便性、飲食、町並み、温泉文化、イベント、祭りを通して感じているかどうか、浅間温泉での暮らしを楽しんでいるかどうかの調査である。

3-1 浅間温泉での生活は快適であるかどうか

「はい」が54.0 %であり半数の人が満足している。「いいえ」は5.5%であり少ない。

「どちらともいえない」が35.5%である。年代別でも同じような評価である。

「どちらとも言えない」と答えた35.5%の原因を究明することによって、90%の人が浅間温泉での快適な生活を感じてもらえることが可能である。

表3-1 浅間温泉での生活は快適であるかどうか

生活は快適か	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無 回 答		合 計	
は い	79	52.0%	187	57.0%	235	53.7%	13	38.2%	514	54.0%
いいえ	11	7.2%	11	3.4%	27	6.2%	3	8.8%	52	5.5%
どちらともいえない	57	37.5%	121	36.9%	154	35.2%	6	17.6%	338	35.5%
そ の 他	1	0.7%	2	0.6%	4	0.9%	0	0.0%	7	0.7%
無 回 答	4	2.6%	7	2.1%	18	4.1%	12	35.3%	41	4.3%
合 計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

3-2-1 よそに出かけるのに便利ですか

浅間温泉の立地自体が買物など便利であるかどうかのアンケートである。67.5%が便利であると答えている。年齢が上がるごとに「はい」の比率が上がる。

表3-2-1 外出に便利であるかどうか

外出に便利か	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無 回 答		合 計	
は い	79	52.0%	227	69.2%	324	74.0%	13	38.2%	643	67.5%
いいえ	23	15.1%	32	9.8%	35	8.0%	6	17.6%	96	10.1%
どちらともいえない	49	32.2%	65	19.8%	63	14.4%	3	8.8%	180	18.9%
無 回 答	1	0.7%	4	1.2%	16	3.7%	12	35.3%	33	3.5%
合 計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

3-2-2 生活必需品の買物に便利か

浅間温泉の中だけで生活が出来るかどうかというアンケートである。

「はい」の21.6%に対して「いいえ」は50.6%である。すべての年代に共通である。

表3-2-2 生活必需品の買物に便利か

買物に便利か	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無 回 答		合 計	
は い	38	25.0%	69	21.0%	93	21.2%	6	17.6%	206	21.6%
いいえ	71	46.7%	179	54.6%	221	50.5%	11	32.4%	482	50.6%
どちらともいえない	42	27.6%	77	23.5%	104	23.7%	3	8.8%	226	23.7%
無 回 答	1	0.7%	3	0.9%	20	4.6%	14	41.2%	38	4.0%
合 計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

3-3 飲食を楽しむのに便利であるか

浅間温泉内の飲食店だけでなく、旅館での食事を楽しんでもらっているかどうかを調べるためにアンケートをした。「はい」の20.0%に対して「いいえ」は40.2%である。「どちらとも言えない」の32.8%を加えると73%の人は、飲食に便利であると思っていない。

表3-3 飲食を楽しむのに便利であるか

飲食に便利か	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無 回 答		合 計	
は い	34	22.4%	79	24.1%	81	18.5%	5	14.7%	199	20.9%
いいえ	67	44.1%	142	43.3%	166	37.9%	8	23.5%	383	40.2%
どちらともいえない	51	33.6%	99	30.2%	156	35.6%	6	17.6%	312	32.8%
無 回 答	0	0.0%	8	2.4%	35	8.0%	15	44.1%	58	6.1%
合 計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

3-4 芸術・文化・スポーツを楽しむのに便利であるか

「はい」が42.8%である。他の項目に比べれば高いが、「いいえ」が19.2%であり、どちらとも言えないが30.7%である。文化・運動施設はあるが、それを市民が身近に感じ、活用できないのはなぜか。原因を考えなければならない。

表3-4 芸術・文化・スポーツを楽しむのに便利か

芸術などに便利か	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無 回 答		合 計	
は い	72	47.4%	164	50.0%	165	37.7%	6	17.6%	407	42.8%
いいえ	23	15.1%	68	20.7%	86	19.6%	6	17.6%	183	19.2%
どちらともいえない	52	34.2%	88	26.8%	145	33.1%	7	20.6%	292	30.7%
無 回 答	5	3.3%	8	2.4%	42	9.6%	15	44.4%	70	7.4%
合 計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

3-5 町の緑や花に潤いを感じられるか

39.3%の人が「はい」と答えている。「いいえ」が24.7%である。どちらとも言えないが30.9%もある。これからの努力によってこの層を「はい」にもってくることが可能である。

年齢層が上がっていくと、「はい」の割合が減り、「いいえ」の割合が増えている。古い浅間温泉を知っている60歳以上の層は、「いいえ」と答えている人が27.4%と最も高い。

表3-5 街に潤いがあるか

街に潤いがあるか	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無 回 答		合 計	
は い	81	53.3%	133	40.5%	152	34.7%	8	23.5%	374	39.3%
いいえ	23	15.1%	82	25.0%	120	27.4%	10	29.4%	235	24.7%
どちらともいえない	47	30.9%	109	33.2%	135	30.8%	3	8.8%	294	30.9%
無 回 答	1	0.7%	4	1.2%	31	7.1%	13	38.2%	49	5.1%
合 計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

3-6 温泉を身近に感じられるか

温泉を身近に感じられるかとの間に、「はい」が53.6%であり、「いいえ」が24.7%であり、「どちらとも言えない」が16.3%である。浅間温泉に住んでいる住民の41%が、温泉を身近に感じないという結果は非常に残念である。なぜ身近に感じないのか原因を究明する必要がある。

年齢層が若くなるほど「はい」の比率が低下し、「いいえ」が増加する。

表3-6 温泉を身近に感じられるか

温泉は身近か	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無 回 答		合 計	
は い	67	44.1%	168	51.2%	263	60.0%	12	35.3%	510	53.6%
いいえ	49	32.2%	91	27.7%	96	21.9%	5	14.7%	241	25.3%
どちらとも言えない	34	22.4%	63	19.2%	56	12.8%	2	5.9%	155	16.3%
無 回 答	2	1.3%	6	1.8%	23	5.3%	15	44.1%	46	4.8%
合 計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

3-7-1 外湯を経験したことがありますか

67.6%が、外湯を利用したことがある。しかし、23.6%の人が、まったく利用したことがない。この原因について究明する必要がある。特に、40歳未満の層（36.2%）である。

表3-7-1 外湯を経験したことがあるか

外湯利用経験	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無 回 答		合 計	
は い	91	59.9%	232	70.7%	309	70.5%	12	35.3%	644	67.6%
いいえ	55	36.2%	82	25.0%	85	19.4%	3	8.8%	225	23.6%
どちらとも言えない	4	2.6%	7	2.1%	18	4.1%	3	8.8%	32	3.4%
無 回 答	2	1.3%	7	2.1%	26	5.9%	16	47.1%	51	5.4%
合 計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

3-7-2 外湯は利用しやすいですか

満足している「はい」が29.9%に対して、いいえ、どちらとも言えないが、61.8%である。満足していない人が多い。問題点を把握し改善する必要がある。「はい」の比率が、年代毎に上がる。「はい」の比率が低い40歳未満に対しても原因を究明する必要がある。

表3-7-2 外湯の利用しやすさ

外湯利用し易さ	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無 回 答		合 計	
は い	30	19.7%	89	27.1%	158	36.1%	8	23.5%	285	29.9%
いいえ	60	39.5%	119	36.3%	118	26.9%	5	14.7%	302	31.7%
どちらとも言えない	54	35.5%	107	32.6%	120	27.4%	6	17.6%	287	30.1%
無 回 答	8	5.3%	13	4.0%	42	9.6%	15	44.1%	78	8.2%
合 計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

3-8 イベントや祭りに対する満足度の調査である。

たいまつ祭り、盆踊り、ツールド美ヶ原、日曜朝市、蚕玉さま祭り、三九郎、手しごと市とふれあい音楽会、ふるさと音楽祭（若獅子太鼓）に対する満足度調査である。

たいまつ祭りが48.4%となかでは満足度が高く、さらに各層からも同じ比率である。

他の祭り、イベントは、20%前後と満足度は低い。

表3-8-1 たいまつ祭り

たいまつ祭り	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無回答		合計	
はい	72	47.4%	170	51.8%	210	47.9%	9	26.5%	461	48.4%
いいえ	17	11.2%	54	16.5%	69	15.8%	5	14.7%	145	15.2%
どちらともいえない	60	39.5%	98	29.9%	128	29.2%	6	17.6%	292	30.7%
無回答	3	2.0%	6	1.8%	31	7.1%	14	41.2%	54	5.7%
合計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

表3-8-2 盆踊り

盆踊り	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無回答		合計	
はい	21	13.8%	34	10.4%	91	20.8%	3	8.8%	149	15.7%
いいえ	55	36.2%	138	42.1%	123	28.1%	8	23.5%	324	34.0%
どちらともいえない	74	48.7%	142	43.3%	167	38.1%	8	23.5%	391	41.1%
無回答	2	1.3%	14	4.3%	57	13.0%	15	44.1%	88	9.2%
合計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

表3-8-3 ツールド美ヶ原

ツールド美ヶ原	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無回答		合計	
はい	14	9.2%	67	20.4%	117	26.7%	5	14.7%	203	21.3%
いいえ	65	42.8%	112	34.1%	109	24.9%	6	17.6%	292	30.7%
どちらともいえない	71	46.7%	136	41.5%	145	33.1%	5	14.7%	357	37.5%
無回答	2	1.3%	13	4.0%	67	15.3%	18	52.9%	100	10.5%
合計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

表3-8-4 日曜朝市

日曜朝市	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無回答		合計	
はい	22	14.5%	71	21.6%	140	32.0%	8	23.5%	241	25.3%
いいえ	53	34.9%	88	26.8%	81	18.5%	5	14.7%	227	23.8%
どちらともいえない	75	49.3%	154	47.0%	167	38.1%	4	11.8%	400	42.0%
無回答	2	1.3%	15	4.6%	50	11.4%	17	50.0%	84	8.8%
合計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

表3-8-5 蚕玉祭り

蚕玉祭り	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無回答		合計	
はい	9	5.9%	27	8.2%	75	17.1%	6	17.6%	117	12.3%
いいえ	57	37.5%	126	38.4%	127	29.0%	7	20.6%	317	33.3%
どちらともいえない	84	55.3%	160	48.8%	166	37.9%	4	11.8%	414	43.5%
無回答	2	1.3%	15	4.6%	70	16.0%	17	50.0%	104	10.9%
合計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

表3-8-6 三九郎

三九郎	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無回答		合計	
はい	40	26.3%	71	21.6%	101	23.1%	6	17.6%	218	22.9%
いいえ	39	25.7%	89	27.1%	91	20.8%	9	26.5%	228	23.9%
どちらともいえない	71	46.7%	155	47.3%	177	40.4%	2	5.9%	405	42.5%
無回答	2	1.3%	13	4.0%	69	15.8%	17	50.0%	101	10.6%
合計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

表3-8-7 手しごと市とふれあい音楽会

手仕事市・音楽会	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無回答		合計	
はい	15	9.9%	57	17.4%	78	17.8%	3	8.8%	153	16.1%
いいえ	46	30.3%	96	29.3%	96	21.9%	8	23.5%	246	25.8%
どちらともいえない	88	57.9%	159	48.5%	192	43.8%	7	20.6%	446	46.8%
無回答	3	2.0%	16	4.9%	72	16.4%	16	47.1%	107	11.2%
合計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

表3-8-8 ふるさと音楽祭

ふるさと音楽祭	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無回答		合計	
はい	25	16.4%	60	18.3%	122	27.9%	5	14.7%	212	22.3%
いいえ	44	28.9%	99	30.2%	89	20.3%	6	17.6%	238	25.0%
どちらともいえない	80	52.6%	155	47.3%	167	38.1%	6	17.6%	408	42.9%
無回答	3	2.0%	14	4.3%	60	13.7%	17	50.0%	94	9.9%
合計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

浅間温泉での生活は、快適であり、外出に便利であるが、買い物や飲食には不便であると思っている人が多い。街には潤いがあり、芸術には便利であると思っている。温泉は、身近であると思い、外湯利用経験者も多い。しかし、問題点は、表3-6と表3-7-1からわかるように25%前後の人が温泉を身近に感じておらず、外湯の利用経験がない。さらに、外湯の利用しやすさについては、は

いと答えた人が29.9%に対して、いいえ、どちらともないの合計が61.8%である。(表3-7-2参照)
住民に対して、温泉を身近に感じてもらう対策と、外湯の利用方法を再考する必要がある。

祭り・イベントに関しては、たいまつ祭りは、住民に評価されている。他の祭り・イベントについては、ほとんど評価されていない。日曜朝市が「はい」が「いいえ」を上回っている程度である。さらに、「どちらとも言えない」層が各イベントに400名くらいいる。

これからの努力によっては、この層が「はい」になる可能性もあるが、多くの住民に楽しんでもらえるよう改善しなければ、「いいえ」に変わる可能性もある。

C. 住民の感じる浅間温泉の魅力についての調査

住民が自分たち町に魅力を感じなければ、観光客は喜ばない。住民が、自分たちの街のどこに魅力を感じているのか、場所、事、食事などを尋ねた。さらに、浅間温泉が魅力的な観光地であるかどうか、また、もし魅力的でないなら何が問題なのか記入してもらった。浅間温泉の将来を考える上で重要な項目である。

3-9 浅間温泉の魅力を感じられる場所はどこですか

表3-9 魅力を感じる場所

魅力場所	度数	内 容
1. 温 泉	255	温泉が圧倒的に多く温泉、外湯(12)を含めて155である。
2. 野 球 場 と 周 辺	34	野球場とその周辺が34である。
3. 神 宮 寺	19	神宮寺とその催し

さらに、北アルプスのきれいに見える場所、小学校の桜の木、湯坂の家並み、坂道、松並木などあった。

3-10 浅間温泉で魅力を感じる事は何ですか

表3-10 魅力を感じる事

良いと感じる事	度数	内 容
1. たいまつ祭り	37	表7-8-1で明記したように461名の人が満足している。
2. アルプスの景色	16	北アルプスの景色
3. 自 然	13	身近な自然を楽しんでいる
4. 静けさ	9	朝の静けさ

3-11 浅間温泉で魅力を感じる食べ物や名物は何ですか

表3-11 浅間温泉で魅力を感じる食べ物

魅力を感じる食べ物	度数	内 容
1. とうふ	48	非常に人気がある。
2. おしんこ餅	47	とうふと同様に人気がある。
3. そ ば	37	「アルプスそば」「かどや」など明記された回答が多い。
4. 温泉まんじゅう	16	温泉地どこでもあるが伝統的なお菓子でもある。

3-12-1 浅間温泉は観光客にとって魅力的であるかどうか

住民が地域を愛さなければ、そこに観光客が訪れても魅力は感じない。良い観光地となるためには、住民が自分たちの住む街を愛し、誇りを持つことが最も重要である。

表3-12-1 浅間温泉は魅力的な観光地か

観光客に魅力的か	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無回答		合計	
はい	10	6.6%	6	1.8%	19	4.3%	1	2.9%	36	3.8%
いいえ	58	38.2%	151	46.0%	162	37.0%	10	29.4%	381	40.0%
どちらともいえない	78	51.3%	161	49.1%	209	47.7%	8	23.5%	456	47.9%
無回答	6	3.9%	10	3.0%	48	11.0%	15	44.1%	79	8.3%
合計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

3-12-2 魅力的でないと答えた人の理由

魅力的ではないと答えた人が圧倒的に多い。理由は、街並み、温泉情緒に欠ける事と旅館に関する事である。旅館に関しては、宿泊料金、顧客対応、食事内容などと、旅館と地域住民のかかわりについてである。

3-12 浅間温泉に新たに欲しいと思われるものについて、整備した方が良いと思われるものについて

浅間温泉に生活して、地元の住民が欲しいと思うものについて調査した。全問が観光客を意識した調査であったため、生活地だけでなく、温泉地として考えて回答している人も見受けられた。アンケート結果を見る限り、住民は、温泉地としての魅力を追求している。

欲しいものの中で、「日常生活に必要なものを買える店」を除けば、情緒ある温泉街、個性的な土産店、散歩の出来る遊歩道、足湯の出来る場所、温泉利用健康増進施設などは、温泉地の魅力である。一番欲しいものである、情緒ある温泉街の街並みとはどのようなものであろうか。一般的には、湯けむり、硫黄などの温泉の匂い、浴衣がけのそぞろ歩き、個性的な郷土色豊かな土産店、外湯などである。湯けむりや硫黄などの温泉の匂いは、不可能であるが、他の温泉情緒については、多額なお金をかけずに改善していくことによって期待に沿えるものになる可能性が充分にある。

3-13 浅間温泉に欲しいもの、整備した方が良いもの

表13-3 浅間温泉にほしいもの

ほしいもの(複数回答)	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無回答		合 計	
情緒ある街並み	75	49.3%	160	48.8%	207	47.3%	11	32.4%	453	47.6%
遊歩道	56	36.8%	142	43.3%	183	41.8%	7	20.6%	388	40.8%
バイアフリーの歩道	48	31.5%	75	22.9%	103	23.5%	6	17.6%	232	24.4%
街角コンサート	5	3.3%	26	7.9%	23	5.3%	1	2.9%	55	5.8%
催し物・イベント	29	19.1%	53	16.2%	63	14.4%	3	8.8%	148	15.5%
足 湯	79	52.0%	123	37.5%	158	36.1%	12	35.3%	372	39.1%
土産物・飲食店	71	46.7%	166	50.6%	179	40.9%	8	23.5%	424	44.5%
遊技・娯楽施設	53	34.9%	84	25.6%	79	18.0%	3	8.8%	219	23.0%
美術館や博物館	6	3.9%	35	10.7%	64	14.6%	0	0.0%	105	11.0%
日用品店	55	36.2%	125	38.1%	211	48.2%	8	23.5%	399	41.9%
温水プール	72	47.4%	132	40.2%	152	34.7%	6	17.6%	362	38.0%
子供や高齢者向け施設	52	34.2%	106	32.3%	174	39.7%	8	23.5%	340	35.7%
その他	0	0.0%	3	0.9%	6	1.4%	2	5.9%	11	1.2%
合 計	601	3.95	1230	3.75	1602	3.66	75	2.21	3,508	3.68

住民の9割の人は浅間温泉が観光客にとって魅力的ではないと答えている。しかし、住民は、浅間温泉が魅力ある温泉になってもらいたいことを期待している。住民の望む町づくりを考えると、それは魅力ある温泉地の条件そのものである。

D. 浅間温泉の旅館についての調査

前項までは、浅間温泉のまちづくりについての項目が中心であったが、この項目においては、旅館と地域住民のかかわりについての調査である。

3-14 浅間温泉の旅館の宿泊利用とその感想

地域に住む住民が浅間温泉の旅館に宿泊したことがあるかどうかについてのアンケートであるが、約6割(56.6%)の宿泊利用経験があり、そのうち53.3%以上が3回以上の利用である。

「良かった」の感想が25%であり、「どちらとも言えない」、「良い時も悪い時もある」の合計が66.3%である。悪かったと言う感想は、2.4%のみである。改善すれば、90%以上の人に満足してもらえることが出来る。

表3-14-1 浅間温泉に宿泊したことがあるか

宿泊したことがあるか	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無回答		合 計	
は い	73	48.0%	181	55.2%	273	62.3%	12	35.3%	539	56.6%
いいえ	69	45.4%	125	38.1%	123	28.1%	10	29.4%	327	34.3%
無回答	10	6.6%	22	6.7%	42	9.6%	12	35.3%	86	9.0%
合 計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

表3-14-2 前項「はい」に対する追加質問（利用回数）

利用回数	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無回答		合計	
1～2回	43	58.9%	102	56.4%	83	30.4%	3	25.0%	231	42.9%
3～5回	22	30.1%	40	22.1%	90	33.0%	2	16.7%	154	28.6%
6回以上	7	9.6%	34	18.8%	90	33.0%	4	33.3%	135	25.0%
無回答	1	1.4%	5	2.8%	10	3.7%	3	25.0%	19	3.5%
合計	73	100.0%	181	100.0%	273	100.0%	12	100.0%	539	100.0%

表3-14-3 浅間温泉の旅館に宿泊した感想

感想	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無回答		合計	
良かった	21	28.8%	44	24.3%	66	24.2%	4	33.3%	135	25.0%
悪かった	4	5.5%	6	3.3%	3	1.1%	0	0.0%	13	2.4%
どちらともいえない	17	23.3%	72	39.8%	74	27.1%	6	50.0%	169	31.4%
良い時も悪い時もあった	24	32.9%	52	28.7%	111	40.7%	1	8.3%	188	34.9%
その他	2	2.7%	2	1.1%	3	1.1%	0	0.0%	7	1.3%
無回答	5	6.8%	5	2.8%	16	5.9%	1	8.3%	27	5.0%
合計	73	100.0%	181	100.0%	273	100.0%	12	100.0%	539	100.0%

3-15 宿泊以外での旅館利用についての調査

住民の宿泊以外での旅館とのかかわりについての調査である。地域にある旅館を住民が宿泊だけでなく、食事、宴会、会議などで活用できれば、あるいは今後活用してもらうための得策を得るために調査した。結果、74.6%が、宿泊以外で旅館を利用している。

次に宿泊以外の利用をしたことのある710名に対して、利用回数とその目的（複数回数）を答えてもらった。頻度についても3回以上の利用が75%あり今後、固定客となり頻度を上げることが可能である。夕食（宴会）、昼食（宴会）としての利用がそれぞれ57.3%、45.2%と高い。

表3-15-1 宿泊以外で旅館を利用したことがあるか

宿泊以外の利用	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無回答		合計	
はい	106	69.7%	255	77.7%	335	76.5%	14	41.2%	710	74.6%
いいえ	37	24.3%	49	14.9%	52	11.9%	6	17.6%	144	15.1%
無回答	9	5.9%	24	7.3%	51	11.6%	14	41.2%	98	10.3%
合計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

表3-15-2 「はい」に対する追加質問

利用回数	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無 回 答		合 計	
1 ～ 2 回	43	40.6%	68	26.7%	67	20.0%	2	14.3%	180	25.4%
3 ～ 5 回	30	28.3%	79	31.0%	113	33.7%	5	35.7%	227	32.0%
6 ～ 10回	13	12.3%	28	11.0%	39	11.6%	1	7.1%	81	11.4%
11回以上	15	14.2%	64	25.1%	82	24.5%	1	7.1%	162	22.8%
無 回 答	5	4.7%	16	6.3%	34	10.1%	5	35.7%	60	8.5%
合 計	106	100.0%	255	100.0%	335	100.0%	14	100.0%	710	100.0%

表3-15-3 利用目的

利用目的(複数回答)	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無 回 答		合 計	
昼食（宴会）	41	38.7%	123	48.2%	150	44.8%	7	50.0%	321	45.2%
夕食（宴会）	54	50.9%	160	62.7%	185	55.2%	8	57.1%	407	57.3%
入 浴	52	49.1%	69	27.1%	74	22.1%	5	35.7%	200	28.2%
喫 茶	3	2.8%	14	5.5%	10	3.0%	2	14.3%	29	4.1%
バー・スナック	3	2.8%	13	5.1%	16	4.8%	1	7.1%	33	4.6%
会 議	11	10.4%	51	20.0%	81	24.2%	4	28.6%	147	20.7%
その他	4	3.8%	11	4.3%	20	6.0%	0	0.0%	35	4.9%
合 計	168	1.11	441	1.34	536	1.22	27	1.93	1172	1.23

3-16 浅間温泉の旅館の今後について

浅間温泉の旅館が今後どうあるべきか住民に聞いた。意見が多かった順は、旅館独自のターゲットを目指す、低価格志向の旅館、個人・家族向け、サービスを選べる旅館となっており、これは、今後旅館経営をする上で大切なことを的確に指摘している。

表3-16 浅間温泉の今後について

旅館の今後(複数回答)	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無 回 答		合 計	
今のままでよい	8	5.3%	7	2.1%	5	1.1%	2	5.9%	22	2.3%
サービスを選べる旅館	38	25.0%	92	28.0%	114	26.0%	5	14.7%	249	26.2%
滞在型旅館	15	9.9%	68	20.7%	58	13.2%	2	5.9%	143	15.0%
高級志向の旅館	5	3.3%	19	5.8%	16	3.7%	0	0.0%	40	4.2%
低価格志向の旅館	39	25.7%	85	25.9%	126	28.8%	6	17.6%	256	26.9%
個人・家族向け	41	27.0%	93	28.4%	114	26.0%	6	17.6%	254	26.7%
団体旅行向け	11	7.2%	25	7.6%	41	9.4%	2	5.9%	79	8.3%
若者向け	25	16.4%	31	9.5%	31	7.1%	2	5.9%	89	9.3%
外国人観光客向け	13	8.6%	19	5.8%	10	2.3%	0	0.0%	42	4.4%
高齢者向け	15	9.9%	29	8.8%	72	16.4%	2	5.9%	118	12.4%
高齢者介護サービスあり	17	11.2%	43	13.1%	71	16.2%	4	11.8%	135	14.2%
旅館独自のターゲット	55	36.2%	129	39.3%	122	27.9%	1	2.9%	307	32.2%
その他	12	7.9%	17	5.2%	13	3.0%	4	11.8%	46	4.8%
合 計	294	1.93	657	2.00	793	1.81	36	1.06	1780	1.87

浅間温泉の地域の住民の56.6%が浅間温泉に宿泊した経験があり、そのうち53.6%は3回以上宿泊している。宿泊利用者の2.4%のみが悪かったと言う印象を持っており、他は、悪いと言う印象がない。住民の74.6%は、宿泊以外で旅館を利用している。さらに、浅間温泉の旅館の今後を聞くと、旅館が21世に生き残る上で必要な事項、考慮すべき事項を的確に指摘している。

E. 浅間温泉の飲食店、商店についての調査

浅間温泉は、飲食に不便であり、欲しいものとして44.5%は、土産物・飲食店を希望している。どのような飲食店を希望しているのか、この調査により知ることが出来る。

3-17-1 飲食店を月に何回利用するか

表3-17-1 飲食店の利用頻度

利用回数	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無 回 答		合 計	
1 ～ 2 回	47	30.9%	114	34.8%	146	33.3%	6	17.6%	313	32.9%
3 ～ 4 回	13	8.6%	25	7.6%	44	10.0%	2	5.9%	84	8.8%
5 回以上	6	3.9%	20	6.1%	28	6.4%	1	2.9%	55	5.8%
利用しない	74	48.7%	131	39.9%	124	28.3%	9	26.5%	338	35.5%
無 回 答	12	7.9%	38	11.6%	96	21.9%	16	47.1%	162	17.0%
合 計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

3-18 浅間温泉に欲しいと思われる飲食店について

記載されているのは少ないが、ファミリーレストラン、大衆食堂、屋台村、居酒屋、喫茶店などである。値段的に安く、美味しく、気楽に入れる飲食店を欲しいと思っている。

3-19 浅間温泉に欲しいと思われるお店について

同じく記載されているのは少ないが、スーパーマーケット、食料品、生鮮食料品、近郊の農作物販売、手作り工房などである。50歳代以上の年齢の人が多いため日々の食料品の買物に不便さを感じているように思われる。

飲食店に関していえば、街の繁華街と比べれば少ないが、美味しく、人気のあるそばやや、信大の学生たちに愛されている大衆食堂、多くの旅館での食事などを考えれば、決して恵まれてないとは言えない。しかし、良い飲食店がないと思っている人が多い。旅館なども色々と企画したランチメニューもあると思うのだが住民に充分アピール出来ていないのか、値段的に高いと思ひ敬遠されているかである。旅館も含めた食のマップ（内容、料金、地図）などを作成して住民に配布できれば、効果は少なからず期待できると思う。

店について言えば、スーパーマーケットの希望が多いが、これは難しいと思ひ、せめて近郊の農家の直売場か、日曜朝市の開催日を増やせればそれなりに売り上げは期待できる。

F. まちづくり活動への参加についての調査

3-20 町づくりへの参加についての考え方

最後に、街づくりについての参加の意志を調査したものであるが、興味がない人が8.8%であり、積極的に参加と出来るだけ参加の合計が43.6%であり、わからない人が22.4%である。わからない人は、活動内容を理解してもらえば賛同し、参加してもらえる可能性がある。

表3-20 街づくりの活動への参加について

街作りに参加するか	40歳未満		40歳～59歳		60歳以上		無 回 答		合 計	
積極的に参加	7	4.6%	13	4.0%	19	4.3%	0	0.0%	39	4.1%
できるだけ参加	65	42.8%	137	41.8%	166	37.9%	8	23.5%	376	39.5%
興味がない	12	7.9%	36	11.0%	33	7.5%	3	8.8%	84	8.8%
わからない	44	28.9%	82	25.0%	82	18.7%	5	14.7%	213	22.4%
その他	4	2.6%	5	1.5%	18	4.1%	0	0.0%	27	2.8%
無回答	20	13.2%	55	16.8%	120	27.4%	18	52.9%	213	22.4%
合 計	152	100.0%	328	100.0%	438	100.0%	34	100.0%	952	100.0%

4. 住民意識に関する考察と課題

4-1 住民は、長年浅間温泉に暮らしている高齢者層が多い。

調査対象者は、地域の住民952名である。男女の内訳は男性（42.1%）女性（52.4%）であり、50歳代以上が全体の69.0%を占める。無職の人が41.6%であり、浅間温泉内で終日生活していると考えられる人が61.7%であり、居住年数20年以上が全体の66.8%である。又居住年数が30年以上の人が326名（34.2%）に達している。

4-2 生活は快適である。

浅間温泉の生活の快適さに関しては、90%の人が不満を持っておらず、外出にも便利であるのだが、買物や飲食に不便さを感じている。

4-3 温泉を身近に感じていない人が25%いる。

温泉の近くに住み温泉を身近に感じている人が53.6%いながら、身近に感じていない人が25.3%いる。外湯利用経験が67.6%いながら、まったく利用していない人が23.6%いる。更に、外湯を利用し易いと答えたのが29.9%に対して「いいえ」と答えたのが31.7%である。このことから外湯について検討する必要がある。特に40歳代未満の比率が高い。

市内にも日帰り温泉施設が開業されるようになってきた。そのいずれもが、立地の優位性やマーケットのニーズの動向を把握し差別化を図り、営業展開がなされている。それに対して、浅間温泉にある外湯の施設であるホットプラザが利用頻度を上げるための戦略が充分になされているか疑問である。付加価値、営業時間の延長、料金の引き下げ、飲料・軽食サービスなどを利用者の身になって考えなければ、ますます温泉を身近に感じない人が増える。

4-4 イベントや祭りが地域に評価されていない。

イベントや祭りについては、たいまつ祭りは、非常に評価されているが、他のイベントは、余り評価されていない。今後、これらのイベントは、住民に参加してもらうための更なる工夫をするべきである。

4-5 住民は温泉地の近くに住んでいることに喜びを感じている。しかし、観光地としての浅間温泉に魅力を感じていない。

温泉に対して住民は、色々と批評はするが温泉の近くに住んでいることに喜びを感じている。そして地元の「とうふ」、「おしんこ餅」「そば」などは非常に美味しいと思っている。

「観光客にとって魅力的な観光地か」と問うと「はい」の3.8%に対して「いいえ」は、40%もある。「観光客がどう思うか」と聞くと、非常に厳しい評価になる。理由として、温泉情緒が欠けると言う意見が多かったが、湯けむりとか温泉の香りとかは、無理である。浴衣がけで北アルプスを眺めながら街並みをそぞろ歩きすることが出来たり、テーマごと（自然、桜、路、建物など）の散策路を案内すれば浅間温泉らしい風情を醸し出すことも可能であるが、多くの費用をかけずに温泉情緒のある景観づくりを検討することも必要である。観光客は浅間に黒川温泉、登別温泉のような温泉を期待してきているのではない。浅間温泉は、都市の近くにある温泉である。浅間温泉らしい活かし方を住民とともに考えていく必要がある。

5. まとめ

アンケート3-13で浅間温泉に欲しいものを記入してもらったが、「日常生活に必要な物を買える店」以外は「情緒ある温泉街の街並み」、「個性的な土産店や飲食店」、「散歩の楽しめる遊歩道」「足湯の出来る場所」「温泉利用健康増進施設」などメディで発表される「行ってみたい温泉を選んだ理由」とほとんど同じである。住民の望む街づくりをすれば、浅間温泉は、ますます魅力ある温泉に近づくということである。約50%の住民が望んでいる「情緒ある温泉街の街並み」は、出来るだけ経費をかけないように知恵を出し合い住民全体で考える最重点課題の一つである。

調査対象者の60%が旅館に宿泊した事があり、75%が旅館で食事利用したことがある。このことは、住民が浅間温泉の旅館を良く知っていると同時に、旅館にとって近くに潜在顧客になる人が多いと言う事でもある。

「彼ら共に知恵を出し合い、改善し、ともに街づくりをすることが、今後の浅間温泉の旅館経営にとっても非常に重要である」と今回の調査で確認された。

謝 辞

本研究に当たっては、浅間温泉住民アンケートのデータ入力に関しては、演習ⅣのWゼミ生である伊藤和彦、興貴子、坪田浩治、内山優一、藤牧俊充、奈須野さやか、金成玖、黄承恁、赤羽明恵、北原伸一の諸氏には多大の協力をいただいた。彼らの協力なくしては成し得なかったことであり感謝を表したい。

《魅力ある個性豊かなまちづくりについてのアンケート》

「自分たちの町を愛し誇りが持てる」それは、この地域に住む私たちひとりの素朴な願いです。その願いを少しでも現実に近づけていくために、あなたの声をお聞かせ下さい。

尚、アンケート用紙の回収は、お互いの各地区の班長さんが 6月10日までにお伺いしますので、お渡し下さい。

差し支えなければ、お名前をご記入ください。

お名前 ()

A. はじめに、あなた自身のことについてお尋ねします。あてはまる番号に○印をお付け下さい。

- 問1. 何町会にお住まいですか？ 第 () 町会
- 問2. あなたの性別は？ 1. 男 2. 女
- 問3. あなたの年齢は？ 1. 10代 2. 20代 3. 30代
4. 40代 5. 50代 6. 60代以上
- 問4. あなたの職業は？ また、お勤めの場所は？
- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 商工業・サービス業などの自営 | 浅間温泉の (内・外) |
| 2. 自営以外の職業 | 〃 (内・外) |
| 3. 無職 (主婦・学生を含む) | 〃 (内・外) |
| 4. 農林漁業 | 〃 (内・外) |
| 5. その他 () | 〃 (内・外) |
- 問5. あなたは浅間温泉にお住まいになってから何年ぐらいになりますか？
- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1. 1年末満 | 2. 1年～3年 | 3. 4年～10年 |
| 4. 11年～20年 | 5. 21年～30年 | 6. 30年以上 |

B. 浅間温泉のアメニティ (利便性や快適性) について具体的にお尋ねします。

問6. 浅間温泉での生活は快適 (「ここに住んでいて良かった」) ですか？

1. はい 3. どちらとも言えない
2. いいえ 4. その他 ()

問7. 浅間温泉のアメニティ (利便性や快適性) について具体的にお尋ねします。

次の質問当てはまる答えの番号に○をして下さい。

(1. はい 2. いいえ 3. どちらとも言えない)

- | | |
|---------------------------|-----------|
| 1. よそへ出かけるのに便利ですか？ | (1. 2. 3) |
| 2. 飲食を楽しむのに便利ですか？ | (1. 2. 3) |
| 3. 芸術・文化・スポーツを楽しむのに便利ですか？ | (1. 2. 3) |
| 4. 町の緑や花にうるおいが感じられますか？ | (1. 2. 3) |
| 5. 温泉を身近に感じられますか？ | (1. 2. 3) |
| 6. 外湯の施設を楽しめますか？ | (1. 2. 3) |
| 7. イベントやお祭りについては楽しめますか？ | |
| ① たいまつ祭り (10月) | (1. 2. 3) |
| ② 盆踊り (8月) | (1. 2. 3) |
| ③ ツールド美ヶ原 (6月) | (1. 2. 3) |
| ④ 日曜朝市 (4月～11月) | (1. 2. 3) |
| ⑤ 蚕玉さま祭り (5月) | (1. 2. 3) |
| ⑥ 三九郎 (1月) | (1. 2. 3) |
| ⑦ 手しごと市とふれあい音楽会 (8月) | (1. 2. 3) |
| ⑧ ふるさと音楽祭 (3月) | (1. 2. 3) |

C. 浅間温泉の魅力についてお尋ねします。

問8. 浅間温泉で魅力を感じられる場所はどこですか？

下の空欄にご記入下さい。

- | | |
|----|----|
| 1. | 4. |
| 2. | 5. |
| 3. | 6. |

問9. 浅間温泉で魅力を感じる事はなんですか？

- | | |
|----|----|
| 1. | 4. |
| 2. | 5. |
| 3. | 6. |

問10. 浅間温泉で魅力を感じる食べ物はなんですか？

- | | |
|----|----|
| 1. | 4. |
| 2. | 5. |
| 3. | 6. |

問11. 浅間温泉は観光客・宿泊客にとって魅力的な観光地ですか？

- | | | |
|-------|--------|--------------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. どちらとも言えない |
|-------|--------|--------------|

上の質問で2. いえに○をされた方に質問します。

理由をお聞かせ下さい。

問12. 浅間温泉に新たに欲しいと思われるもの、整備した方が良くと思われるものは何ですか？

複数回答可

1. 情緒のある温泉街の街並み
2. 散策の楽しめる遊歩道
3. 歩行者の安全に配慮したバリアフリーの歩道、道路
4. 街角コンサート
5. 催し物・イベント・お祭り
6. 足湯のできる場所
7. 個性的なお土産店や飲食店
8. 遊戯・娯楽施設
9. 美術館や博物館
10. 日常生活に必要な物を買える店
11. 温水プール、温泉を利用した健康増進施設
12. その他 ()

